

廃棄物資源循環学会企画セミナー

廃棄物資源循環分野における国際協力の近年の動向

2021-3-5

廃棄物資源循環学会

〔趣旨〕 令和2年第1号、第2号の学会誌で特集した「廃棄物資源循環分野における国際協力の近年の動向」についてこの度セミナーを実施することを企画いたしました。本特集は、我が国の静脈産業の海外展開と途上国支援に焦点をあて、2019年の夏から秋の間に各著者の方に執筆頂いたものでした。これは、コロナ禍以前、グローバル化が国の後押しもあって進められていた状況で、廃棄物や資源循環に関わる分野の方々も積極的に海外展開を行っていたからです。コロナ禍により、各国は国境を閉ざし、人の移動も停止し、国際的な活動は急速に鈍化しました。本セミナーでは、これまでの海外展開、国際貢献について、特集号においてご執筆頂いた内容に基づいてご講演を頂いた後、ポストコロナの時代においても、これまで通りの海外展開・国際協力が行えるのか、またその方法はどのような形態で実施していくべきなのかについても議論をしていきたいと思っております。

〔主催〕 廃棄物資源循環学会

〔日時〕 2021年4月23日(金) 13:00~16:30 (受付開始 12:30)

〔会場〕 完全WEBセミナー

〔定員〕 100名(事前WEB申込み制)

〔参加申込み〕 学会ホームページ (<http://jsmcwm.or.jp/?p=>) から申込みください。

セミナー参加費 会員5千円、非会員1.0万円、学生・自治体3千円

正会員に入会された方(年会費:9,000円)は、参加費無料となります
事前振込でお願いします。

〔プログラム〕

- 13:00~13:05 開会の挨拶 高岡昌輝(学会誌編集委員長)
座長 東條安匡(北海道大学)
- (第一部) 循環産業の海外展開
- 13:05~13:25 日本の循環産業の国際競争力 環境物品・環境サービス貿易の視点から 佐々木 創(中央大学)
- 13:25~13:45 ミャンマー・ヤンゴン市の廃棄物焼却発電 JCM を活用した廃棄物発電プラント 鈴木永芳(JFE エンジニアリング(株))
- 13:45~14:05 中国での既存セメントキルンを活用した廃棄物処理システムの展開 加藤敦士(川崎重工業株式会社 エネルギー・環境プラントカンパニー)
- 14:05~14:25 東南アジアにおける廃棄物処理事業の取り組み 山本 淳(DOWA エコシステム(株))
- (第二部) 後発開発途上国支援
- 14:25~14:45 廃棄物資源循環分野における開発途上国支援とSDGsの取り組みに向けた課題 吉田充夫((一社)国際環境協力ネットワーク)
- 14:45~15:05 アフリカ諸国に対する廃棄物分野でのプラットフォーム型支援体制 アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)が目指すもの 下平千恵((独)国際協力機構(JICA))
- 15:05~15:25 スーダン国ハルツームにおける廃棄物管理事業強化の経験と実施手法 石井明男(元 八千代エンジニアリング(株))
- 15:25~15:45 アフリカ諸国における福岡方式(Semi-aerobic Landfill Concept)による技術移転 Lack of 6Ms の下での埋立地改善技術 松藤康司((NPO)SWAN-福岡)
- 15:45~16:25 質疑・パネルディスカッション 東條安匡
- 16:25~16:30 閉会の挨拶 長田守弘(学会副会長)